


災害と女性

【平成29年度】開催日時：平成30年3月3日（土）
在宅避難を考える

チ ラ シ	概 要
	<p>災害が発生した場合、多くの区民は避難拠点に関心を持ちがちであるが、在宅避難が主流となることを知ってもらい、男女共同参画の視点から在宅避難を考える機会とする。在宅避難の場合、各家庭での水や食料の備蓄が大きな安心材料になることは必至だが、各種ライフラインが復旧するまでの心理的不安を解消することも重要である。</p> <p>参加者には町内や隣近所の人たちと話し合いを通して合意形成をすることを体験してもらうためにファシリテーターを起用し、話し合いのコツを学ぶことも学習課題のひとつとした。</p> <p>また、話し合いの場に女性の視点とニーズを取り入れた防災体制づくりに生かすために女性防災リーダーを発掘、育成する。</p>
	<p style="text-align: center;">内 容</p> <p><ワークショップ>「在宅避難を考える」 ファシリテーター：杉村 郁雄 (NPO法人日本ファシリテーション協会会員)</p> <p><防災劇>「博士の在宅避難」 パフォーマンス：BPプロジェクト</p> <p><報告>「在宅避難の取り組み」 防災学習センター所長</p> <p><講演>「スマホ活用で在宅避難を乗り越える」 太倉 美登子（シニアITアドバイザー）</p> <p><パネル展示> 「水洗トイレどうしよう～おがくずトイレの実例」</p>

講 座 風 景



BPプロジェクト防災劇



防災学習センター所長講話



杉村講師の防災講座



参加者ディスカッション



ワークショップ



災害時のスマホ活用講座